

《履修上の留意事項》【面接授業のみ実施】

《担当者名》○下村 敦司 中野 倫仁

【概 要】

前期開講の「人体の構造と機能及び疾患」に引き続き、人体の正常構造と機能を学習する。また、心理学的支援が必要な代表疾患の成り立ちや特徴について学ぶ。

【学習目標】

心の問題とそれを原因とする身体的問題を生物学的に理解するために、正常な人体構造と機能さらに疾患の基礎知識を習得する。

脳神経系の構造と機能について説明できる。

感覚器系の構造と機能について説明できる。

消化器系の構造と機能について説明できる。

内分泌系の構造と機能について説明できる。

生殖とライフサイクルについて説明できる。

がん・難病等の心理学的支援が必要な代表的疾患について説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	脳神経系	・神経細胞の構造と機能を学ぶ。 ・中枢神経系の微細構造を学ぶ。	下村 敦司
2	脳神経系	・中枢神経系の分類と構成を学ぶ。 ・大脳皮質の構造と機能を学ぶ。 ・中枢神経系の発生を学ぶ。	下村 敦司
3	脳神経系	・中枢神経系の神経線維を学ぶ。 ・大脳辺縁系の構造と機能を学ぶ。 ・大脳基底核の構造と機能を学ぶ。 ・間脳の構造と機能を学ぶ。 ・小脳の構造と機能を学ぶ。 ・脊髄の構造と機能を学ぶ。	下村 敦司
4	脳神経系	・大脳の動脈灌流域を学ぶ。 ・記憶について学ぶ。 ・情動について学ぶ。 ・意識と睡眠について学ぶ。	下村 敦司
5	脳神経系	・末梢神経系の分類と構成を学ぶ。 ・脳神経の構造と機能を学ぶ。 ・脊髄神経の構造と機能を学ぶ。 ・自律神経系の構造と機能を学ぶ。	下村 敦司
6	運動	・錐体路の構造と機能および障害について学ぶ。 ・錐体外路、小脳が関わる運動調節および障害について学ぶ。 ・反射弓の構造と機能および障害について学ぶ。	下村 敦司
7	感覚器系	・嗅覚器の構造と機能を学ぶ。 ・視覚器の構造と機能を学ぶ。 ・表皮の構造と機能を学ぶ。 ・表在感覚器の構造と機能を学ぶ。 ・深部感覚器の構造と機能を学ぶ。	下村 敦司
8	感覚器系	・味覚器の構造と機能を学ぶ。 ・聴覚器の構造と機能を学ぶ。 ・平衡覚器の構造と機能を学ぶ。	下村 敦司
9	消化器系	・口腔、唾液腺、咽頭、食道、胃、小腸、大腸の構造と機能を学ぶ。 ・肝臓、脾臓、胆嚢の構造と機能を学ぶ。	下村 敦司
10	消化器系	・消化と吸収について学ぶ。	下村 敦司

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		・異化と同化について学ぶ。 ・栄養素について学ぶ。	
11	内分泌系 ライフサイクル	・内分泌腺のその機能を学ぶ。 ・ホルモンによる恒常性維持とその調節を学ぶ。 ・各ホルモンの作用を学ぶ。 ・妊娠から出産までの各過程について学ぶ。 ・思春期について学ぶ。 ・加齢について学ぶ。	下村 敦司
12	内科疾患の理解	・生活習慣病と代表的疾患を学ぶ。	中野 倫仁
13	がんの理解	・がんと緩和医療を学ぶ。	中野 倫仁
14	難病の理解	・難病と社会的支援を学ぶ。	中野 倫仁
15	神経疾患の理解	・神経疾患、てんかん、認知症について学ぶ。	中野 倫仁

【評価方法】

定期試験 100%

試験実施後、多かった誤りまたは特徴的な問題点があった場合には要点を掲示する。

【備 考】

教科書：武田克彦 他 編 「人体の構造と機能及び疾病」 医歯薬出版 2019年

参考書：多久和典子 他 著 「なるほどなっとく！ 解剖生理学 改訂2版」 南江堂 2019年
Steve Parker 著 「みえる人体 構造・機能・病態」 南江堂 2009年
坂井建雄 他 編 「人体の正常構造と機能 改訂3版」 日本医事新報社 2017年
Gerard J. Tortora 他 著 「トートラ 人体の構造と機能 第5版」 丸善出版 2019年
Richard L. Drake 他 著 「グレイ解剖学 原著第4版」 エルゼビア・ジャパン 2019年

【学習の準備】

本科目は覚えることが非常に多い。そのため、予習・復習を欠かさずに行うことが必要である。

予習は、教科書や配布資料をよく読み理解に努める。（80分）

復習は、講義の学習内容を確認して理解できない部分はチェックし、参考書で調べるあるいは担当教員に質問する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

中野倫仁（医師、公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

実際の症例を用いて、疾患の概要を補足する。